

教育・保育

No	テーマ	講義内容紹介	関心ワード	教員名	職名
EC-1	「学び」の意義 ～人間はなぜ学ばなければならないのか～	私自身の「学び」の経験談にも触れながら、生物学的視点からのヒトおよび社会的存在としての人間の両側面の本質的特徴を踏まえつつ、ヒト・人間にとっての「学び」の意義について一緒に考え、高校生としての「学び」の在り方について振り返りを行う(そのための助言を行う)。	学び	秋川 陽一	学部長 教授
EC-2	21世紀型学力養成の授業と評価	これからの教育は、基礎的な知識・技能を習得させるとともに、それらを活用しながら、自ら課題を発見し、主体的・協働的に探究する学びが重要です。こうした学習・指導方法について講義します	教育	金沢 緑	教授
EC-3	アクティブラーニングと評価	子どもたちに育成すべき資質・能力を確実に育む観点から、「アクティブラーニング」等のプロセスを通じて表れる子供たちの学習成果をどのように評価するかについて講義します。	教育	金沢 緑	教授
EC-4	考える子どもを育てる授業とは	児童がじっくり考えるあたらしい授業づくりは「自分の問題をもつ」指導が大切です。子どもが自ら課題を持つ授業のあり方について学びます。	教育	金沢 緑	教授
EC-5	子どもの「やる気」を知ろう！	人はもともと高い好奇心を持って生まれ、特に乳児はその好奇心で「世界」を探検し、多くのことを学習します。しかし、児童期になると、「好奇心」だけでは動けません。「自分には世界を探検する力があるのだ」という信念が必要になります。本授業では、乳幼児期や児童期の「やる気」について、「信念」の観点を踏まえて解説します。	教育	大山 摩希子	教授
EC-6	学校生活に生かせる心理学	「心理学」は、学校生活の中のさまざまな場面で生かすことができます。この講義では、一人でいるときと学校で友だちといるときで行動がどう違うかなど、くらしの中でもよく目にするような現象をもとに、心理学の生かし方を一緒に考えていきます。	教育	大和田 智文	准教授
EC-7	小学校教員の魅力	小学校の現場では、日常どのような教育活動がなされているのでしょうか。小学校での教員や職員、子どもたちの日常生活の一端を紹介しながら、小学校教員の魅力に迫ります。そして、教員になるための進路を紹介します。	教育	小野間 正巳	准教授
EC-8	「障害」は環境の中で生まれる「生きづらさ」	障害とは何だと思いますか。「障害」は周りの環境との総合作用の中で生まれるのです。障害のある方への支援を考える3つのワークを通して、これまでの抱いていた「障害」とは違う新しい「障害」と出会ってください。	教育	米倉 裕希子	准教授

教育・保育

EC-9	教育全般	人を支援するということ	最近「援助する」という表現よりも「支援する」という言葉を耳にすることが増えました。学校教育においても「特別支援教育」がスタートしてほぼ10年になりますが、学校の教師にとって、「子どもを支援する」ということの意味について考えます。	教育	市橋 真奈美	講師
EC-10		「小学校の先生」ってどんな職業？	「小学校の先生」とはどんな仕事なのでしょう。小学校時代に見ていた先生とはどんな職業なのでしょう。職業人としての「小学校の先生」について、卒業した小学校の先生方の姿を思い浮かべながら、考えてみてください。	教育	新川 靖	助教
EC-11	学校教育	日常の不思議を科学しよう	授業に生かすことができる日常の科学について実験を交えて講義します。教員を目指す方だけでなく、理科が苦手だった人たちにも理科の楽しさや不思議さ味わい、生活の科学について学びます。（具体的内容は季節や希望に合わせて行います。）	教科教育 (理科)	金沢 緑	教授
EC-12		理科のものづくり単元と授業の実際	義務教育段階の児童・生徒へのものづくり単元を実際に体験してもらい、作って楽しむだけではなく、作ることによって達成される授業の目標とは何か、学習者中心の授業作りの実際について講義します。	教科教育 (理科)	金沢 緑	教授
EC-13		自然地理(兵庫県・岡山県)	兵庫県から岡山県にかけての海岸には、縄文時代から現代に至るまでの海の高さが変化している証拠が見つけられます。この海面変化から当時の気候が予想できます。証拠の一つ一つを紹介しながら、郷土の自然地理の魅力に迫ります。	教科教育応徳 (社会)	小野間 正巳	准教授
EC-14		小学校の総合的学習の時間の活動～海の恵みを生かした活動～	海岸近くにある小学校4年生が、「地引き網」「塩づくり」「ウミガメの放流」などの体験を通して学んだことを、「塩の道」をたどって山間地の小学校や地元の住民に様々な表現活動によって報告する様子を紹介します。	教科教育応徳 (総合)	小野間 正巳	准教授
EC-15		「川」をテーマにした生活科・総合的な学習の時間	学校の近くを流れる川と「カヌー体験」「水質調査」「自然を守る活動」などに生活科や総合的な学習の時間の活動を通して取り組む小学生の姿を紹介します。	教科教育応徳 (総合)	小野間 正巳	准教授
EC-16		小学校の言語活動	小学校の国語科や外国語活動などでは、言語活動が行われています。小学生が興味を持ち、楽しい学習活動を通して表現力や言葉の力を育てています。活動の紹介を、実際に取り組むことによって理解してもらおう活動を紹介します。	教科教育 (国語)	小野間 正巳	准教授

教育・保育

EC-17	学校教育	絵本を使った道徳授業	絵本を使い、体験的活動(ソーシャルスキルトレーニング・パートナーインタビューなど)を行いながら、対人関係調整能力を身に付け、思いやりの心を育てる授業を行います。体を通して道徳的心情を育てる活動を紹介しします。	教科教育(道徳)	小野間 正巳	准教授
EC-18		心育てる教育ってなに？ ～道徳教育を考えよう～	「心を育てる教育」である道徳教育。週一時間の授業を中心として学校のすべての活動で行われています。子ども達の心を育てるのは先生の大切な役割。模擬授業を体験するなどして道徳教育の重要性や授業の面白さや大切さについて考える内容です。	教科教育(道徳)	新川 靖	助教
EC-19	幼児教育・保育	「保育」のプロを目指して	「子育て・子育ち」の危機が叫ばれる今、保育者には、「プロ」としての高い専門性や倫理観をもつことが求められるようになってきている。その、今、求められる保育者の専門性や倫理の具体的な中身は何か、それを踏まえた上で、将来、保育者を目指す高校生が、今(高校時代)に身につけておくべきものとは何か、について考える。	保育士 学び 仕事	秋川 陽一	学部長
EC-20		児童福祉施設で働く保育士	保育士が活躍する場は保育所だけではなく。他にもいろいろな事情で親から離れて暮らす子どもたちがいる児童養護施設などでも多くの保育士さんが働いています。やりがいや仕事を少しのぞいてみましょう。	障害児保育	米倉 裕希子	准教授
EC-21		障害のある子どもの不思議な世界	障害のあるお子さんは、不思議で、ときに困った行動をします。障害のある子どもには、この世界はどのように映っているのでしょうか。障害特性を理解するワークを通して体感してみましょう。	障害児保育	米倉 裕希子	准教授
EC-22		幼児が健康に育むために ～食事編～	幼児の食事は、保護者に依存しているといっても過言ではありません。毎日の食事内容や食事リズムなどを今一度見直すことで幼児の健康により良い影響を与えます。幼児に適した食事内容や食事リズムを栄養学の視点から考えます。	幼児教育	廣 陽子	講師
EC-23		先生も知っておきたい！毎日何をどれだけ食べればいいのか？	様々なダイエット法や健康食品、時間栄養学やサプリメントなど食べ方や摂取食品の情報で溢れている今日、基本的な食べ方を食事バランスガイドに沿って実際に食べたもので考えましょう。先生になるために毎日の食事を見直し、正しい食習慣を身につけましょう。	幼児教育	廣 陽子	講師
EC-24		やってみよう！ためしてみよう！子どもに大切な生活技術	便利グッズのおかげで、子どもにとっては手を使う機会が減少し、不器用な子どもが増えてきていると言われています。手が器用なことは、一生役に立ち、自分を助けてくれるでしょう。もう一度生活を見直してみましょう。	幼児教育	廣 陽子	講師

教育・保育

EC-25	幼児教育・保育	幼稚園の先生の魅力 ～子どもと共に教育の創造～	子どもたちと一緒に、生活や遊び、学びを創造しながら成長していくのが“先生”です。「子ども笑顔あふれる生活をするためには・・・」、「子どもの幸せってなんだろう・・・」といった、子どもの健やかな成長・発達を援助する教育の楽しさや“先生”の魅力を知る内容です。	幼児教育	原子 純	講師
EC-26		子どもの生活・発達・学び	子どもが生まれてから人間として成長していくプロセスで経験する自然や他者との関わり、学習、それを支える様々な制度や文化など、乳幼児期から学童期の子どものための実践的な教育力を学ぶ内容です。	幼児教育	原子 純	講師
EC-27		探索的な活動と「教育」	幼児教育では、子どもの好奇心や探索心・探求心(＝興味・関心)をくすぐる(・誘発する)遊びをとおして、子どもの探索的な活動・探求的な活動を大切にします。幼児教育から小学校教育につながる「学びの芽生え」を視点に、協同的な活動の中での経験から総合的な学習・教育について知る内容です。	幼児教育	原子 純	講師
EC-17	対人関係カウンセリング	絵本を使った道徳授業	絵本を使い、体験的活動(ソーシャルスキルトレーニング・パートナーインタビューなど)を行いながら、対人関係調整能力を身に付け、思いやりの心を育てる授業を行います。体を通して道徳的心情を育てる活動を紹介しします。	人間関係	小野間 正巳	准教授
EC-28		心も体も生き生き！ 楽しいふれあいレクリエーション	レクリエーションの語源はラテン語の“recreare”で、「壊れたものがつくり直されること、人が病氣から回復すること、疲労をいやして元気を取り戻す」という意味があります。現代では、コミュニケーションを図る手段としても注目されています。手軽にできる歌遊びやゲームなどを通して、互いに心を通わせ、楽しく仲間づくりを行いましょう。	人間関係	服部 伸一	教授
EC-29		グループワーク・トレーニング入門	お互いを知り、人との関わり方を学ぶ体験型の教育プログラムとして注目されている「グループワーク・トレーニング」。様々なワークを通して、人との関わり方に対する「気づき」が促されていきます。	人間関係	服部 伸一	教授